

ひろ

しま

わ

ぎゅう

にゅーす

# 広島和牛NEWS

見んさい! 食べんさい! 飲めんさい!

## カンパイ! 広島県

ヽ(▽)／(▽)／(▽)／

(^▽^)/ 広島和牛最高の無料情報誌を目指します!!

## No.7 平成28年3月1日発行

デザイン、内容は、今後の紙面充実のため、変更する場合があります。

### ▶ 広島和牛の100年のあゆみ ～ 広島県種畜牧場誕生から100年～

大正5年(1916年)に神石高原町油木(当時、神石郡油木町高水池)に広島県種畜場が創設されてから今年(2016年)で100年を迎えました。

種畜場が創設されるまでは、自然交配や改良組合などが種牡牛(種雄牛)を設置し、交配事業等を行っていましたが、日本固有の和種の改良を専門とする基地の必要性から、優良種牡牛の育成と配布(払下げ)事業を行う目的で公設の種畜場として創設されました。種畜場は幾多の変遷を経て平成20年(2008年)に90年を超える歴史に幕を閉じましたが、その後も神石牛産地の中枢団地として活躍しています。そのあゆみと新しい展開を紹介いたします。

旧広島県種畜牧場の飼料生産の様子(H26年撮影)



100年の沿革		あゆみ	機能の変遷
大正5年(1916)	広島県種畜場として創設	種牡牛を育成し畜産組合に配布	種雄牛の配布
昭和14年(1939)	広島県油木種畜場と改称	種雄牛の配布に加え、種雌牛の繁殖と肥育試験開始肥育試験は本場(庄原市)に移管し、種雄牛造成に特化	昭和30年度から東部地域に液状精液を定期配布
昭和47年(1972)	広島県畜産試験場油木支場と改称		昭和45年度から凍結精液に切り替え
昭和56年(1981)	油木肉用牛改良センターと改称	昭和57年よりバイオテクノロジーを応用した受精卵供給を開始	県内全域に凍結精液を配布
平成7年(1995)	広島県立畜産技術センター広島牛改良センターに改称	平成2年より、全国に先駆け高度な計算手法による育種価評価を開始し、改良精度を飛躍的に向上させる 平成3年には、受精卵供給センター施設の整備を行い、受精卵生産の強化を図る。	平成5年度から民間に受精卵供給開始
平成20年(2008)	広島県立総合技術研究所畜産技術センターに統合。跡地は和牛の改良増殖を行うことを条件に神石高原町へ無償譲渡		平成20年3月31日閉場
平成21年(2009)	施設等を地元の和牛経営者で構成する(農)神石高原和牛の里に指定管理委託し、和牛繁殖団地として再生	参考「90年のあゆみ(広島牛の改良)」 「神石牛と丹下乾三」	
平成28年(2016)	和牛繁殖雌牛が飼養される神石牛の里として発展中		

#### 【現在の様子】

現在、(農)神石高原和牛の里が管理主体となり、団地内には全農ひろしま、新規就農者などが入植し、合計で繁殖雌牛約250頭、肥育牛約40頭が飼養される和牛の大団地として機能しています。

かつては、牛の供給から、精液の供給、受精卵の供給と時代の変化に応じて、広島県の和牛改良の基地として機能してきました。

現在は、多くの繁殖雌牛が飼養され子牛生産が行われ、和牛経営を実践することで、人を雇用し、人材を育成し、新規就農者を養成して、神石牛を中心に和牛産地の振興に不可欠な存在となっています。

#### 【これから100年の歴史づくりのはじまり】

これまでの100年は、種の固定に始まり、農耕用に必要な牛の供給から、食用の高級和牛肉の安定供給まで、時代の変遷に応じた使命を担ってきました。現在、団地では、新規に神石牛を飼養する経営者や後継者が確実に育っています。

これからは、この団地が地域の基幹産業である神石牛振興の中枢を担い、次世代に継承できるブランドづくりに貢献し繁栄していくことが求められています。

#### 【神石牛のブランド化と歴史と伝統の教育へ】

神石高原町立三和(さんわ)小学校では、6年生の総合学習に「神石牛」が取り上げられ、様々な取り組みが行われています。

この取組は、平成26年度から開始されており、「神石牛と丹下乾三(けんそう)」(神田三亀男著 昭和48年発行)の著書が文献として利用されています。

この取組を始めた飯干教諭は、「ちょうど神石牛のブランド化の機運が盛り上がっていたことが、学習に取り入れるきっかけ」、「子どもたちが自分で動き、調べ、成果を発表する身近なテーマであり、この取組の結果、自信と自負が身についたようだ。」とその成果を感じておられました。

神石牛のブランド化が教育現場に取り入れられ、小学生で歴史を実感し、中学生で体験学習を行い、高校生と大学生でその知識と技術を身に付ける和牛産業の循環が神石高原町に、芽生えつつあるようです。

神石牛が、産業として確立し、食品として供給され、観光に貢献し、教育に活用されることで、人・牛・地域の連鎖が始まっています。この連鎖の胎動をさらに強めていく使命が我々にあるようです。



学習に利用されている著書

## ▶ 広島和牛づくり ～ 和牛の歴史と文化を価値に転換する ～

平成28年2月24日(火)に広島市食肉市場において、『平成27年度第3回広島血統和牛再構築検討会』が行われました。当日は、公益社団法人全国和牛登録協会の向井会長、穴田事務局長を迎え、全農ひろしまと広島県職員34名が参集し、広島血統和牛の進捗状況報告を行い、今後の展開方向の意見交換や助言をいただきました。穴田事務局長は「担い手の確保が最重要課題。改良組合の活性化も併せて推進するなかで、観光戦略への位置付けから、さらに和牛の歴史などが教育に取り入れられると認知度が向上しさらに波及が期待できる。」と助言がありました。向井会長は「肉のきめ細かさ」と肉色(鮮紅色)で差が明らかにできれば、消費者に訴求できるブランド化が進むのではないかと貴重な意見をうかがうことができました。

当日は、同時に広島県候補種雄牛「3柴沖茂」の初出荷枝肉調査会も行われました。「3柴沖茂」は、広島血統を代表し、来年宮城県で開催される全国和牛能力共進会(和牛のオリンピック)の勝利のカギを握る大切な種雄牛候補です。成績は、BMS No8の肉質等級A5が出るなど好調なスタートをきったといえます。今後出荷される検定牛から能力評価等が行われることとなっています。

今後さらに、広島和牛の偉大な歴史・伝統が地域の産業・文化と密接につながった広島血統和牛肉を県民の食卓に提供するとともに、観光客をもてなす戦略の展開が期待されます。

### ◆「3柴沖茂」産子の成績

性別	出荷月齢	血統			枝肉成績		
		父	祖父	曾祖父	等級	BMS	枝肉重量
雌	27.5ヶ月	3柴沖茂	勝白	金鶴	A5	8	438kg
去勢	27.7ヶ月	3柴沖茂	勝白	福栄	A4	6	453kg
去勢	27.3ヶ月	3柴沖茂	勝白	北伊藤	A3	3	500kg



「3柴沖茂」ののぼりで会場を盛上げます



ロースが充実した枝肉(雌A5)

## ▶ 『比婆牛』ブランドを高める！ ～ 広島県産応援登録商品に登録されました ～

平成28年1月26日(火)にワークピア広島(広島市南区)で、広島県産応援登録制度の審査会(畜産物)が行われ、審査の結果、『比婆牛』が広島県産応援登録商品に登録されました。今回、比婆牛を始め豚肉、鶏卵の4商品の審査が行われ、全ての商品が登録されています。

当日の審査会は、販売業やフードコンサルタントなど5名の審査員により、実際に調理された商品を試食しながら、申請のあった団体から商品の生産・販売の特徴や魅力の説明が行われました。審査員からは、牛肉の納品形態、パーツの供給要望への対応など、商品供給を前提とした実務的な質問がありました。

この制度への登録で『比婆牛』のブランド力が直ちに向上するわけではありませんが、販路拡大の機会を増やす手段として有効であり、引き続き、地域、生産者、支援組織などが一丸となって、買ってもらえる・食べてもらえる魅力ある『比婆牛』を安定的に一定の高い品質で適切な価格で供給していく行動が求められていると言えます。



審査員は、調理された比婆牛を味わいながら、プレゼンを真剣に聞き入っています



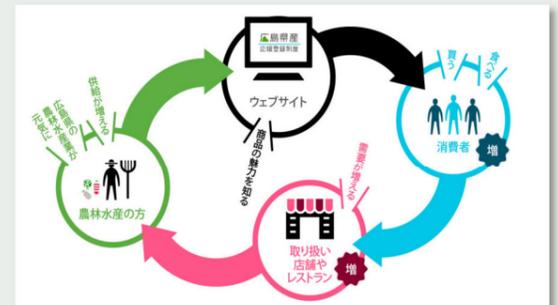
比婆牛のプレゼンブースと市の担当者

### ～コトバの説明～【広島県産応援登録制度】

広島県が創設した、こだわりの広島県産の農林水産物について、審査会において生産者等から商品提案を受け、審査に合格した商品に登録し、PRや販路開拓を応援する制度です。

審査は実需者の協力を得て行われ、100点満点中60点以上かつ1社以上の販売希望がある商品が登録されます。

### 【制度のイメージ】



## ▶ 提出期限は4月15日です！ ～飼養衛生管理基準の定期報告のお願い～

牛を飼養・管理する皆さんは、家畜伝染病予防法により、飼養状況等を報告する義務があります。すでに広島県の各畜産事務所から牛を飼養・管理する皆様へ、定期報告書の用紙が送付されています。

平成28年2月1日時点の飼養状況等を管轄の畜産事務所へ提出してください

**提出期限は、平成28年4月15日です**

★ファクシミリによる報告も可能です。原本は農場等で大切に保管してください

平面図、埋却地等が前年と変更なければ添付書類は省略可能です

### 【報告書の提出先及びお問合せ先】

事務所名	送付先	問合せ	FAX報告	管轄する市町
西部畜産事務所	〒739-0013 東広島市西条御条町1-15	TEL(082)423-2411(直)	FAX(082)424-1826	広島市、東広島市、安芸高田市、北広島町ほか
東部畜産事務所	〒720-8511 福山市三吉町1-1-1	TEL(084)921-1311(代)	FAX(084)921-1229	三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町
北部畜産事務所	〒727-0011 庄原市東本町1-4-1	TEL(0824)72-2015(代)	FAX(0824)72-7334	三次市、庄原市

お知らせ(へ) 広島和牛 NEWS が Web で閲覧可能になりました⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

次回は、4月1日発行予定！